

フィデューシャリー・デューティーの具体的取組事項にかかる 2022 年度取組実績

取組方針および具体的取組事項	2022 年度通期取組実績
<p><b>方針 1 : 「お客さまの最善の利益の追求」</b></p>	
<p>○企業と投資家の間に長期の信頼関係を構築するための施策を講じます。</p>	<p>▶ 方針 3 に記載の投資家等とのコミュニケーションによる長期の信頼関係構築を継続。 ▶ 企業とのエンゲージメント面談や 1 on 1 ミーティングを 63 先と実施（国内 46 先、海外 17 先）。</p>
<p>○企業価値の徹底した分析に基づく評価とその創造への提言の能力を備えた人財の育成のための施策を講じます。</p>	<p>▶ 昨年同様、教育機関により提供されるプログラムを若手職員に受講させ、企業価値評価、投資戦略等のスキル、ノウハウ蓄積に努めた。 ・Aurea Lotus 社主催の『フランチャイズバリュー創造企業に投資する為の基礎講座』（バリュー投資の基礎理論および企業分析事例の講義）に若手職員が各々 4 名参加（5 月、8 月、11 月）。</p>
<p><b>方針 2 「利益相反の適切な管理」</b></p>	
<p>○利益相反管理の有効性・適切性の検証の中で、当社の業務特性を踏まえた利益相反回避のための適切な方法を採用いたします。</p>	<p>▶ 利益相反管理方針に基づく管理を継続し、親会社等の役員を兼務する取締役、および親会社からの出向者に対し、不当な影響力行使や情報の守秘についての誓約書を受領。また、所属する役職員全員から内部者取引等防止に関する確約書を受領。 ○利益相反にかかる誓約書受領 親会社から当社に着任した出向者 4 名 ○内部者取引防止確約書受領 新規で当社に着任した役職員 9 名から受領</p>

取組方針および具体的取組事項	2022 年度通期取組実績
----------------	---------------

<b>方針 3 「報酬へのご理解」</b>	
-----------------------	--

<p>○お客さまに定期的に実施する運用報告のほか、年次総会などの機会を通じて、当社の活動の内容をお客さまにご理解いただくための活動を実施いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 個人投資家向けの年次総会を 9 月 17 日に実施。参加者は約 114 名（リアル会場参加：34 名、オンライン参加：約 80 名）             <p style="margin-left: 20px;">当日は 2 部構成とし、第 1 部では年次運用報告等、第 2 部では投資先企業であるテルモ社のメディカルプラネクスを見学。参加者アンケートでは、「企業価値の重要性を再認識した」「投資の手触り感を実感。利益はありがたいの対価であることをテルモの課題解決活動を見て強く納得」等、ほぼ 100%の満足度を獲得。</p> </li> <li>▶ 機関投資家向け年次総会を 12 月 2 日に当社およびキッコーマン野田工場にて実施（参加者 19 名）。事後アンケートでは、セミナーでの解説・施設見学・IR 部門からの直接説明を一貫してもらったことにより、当該企業の事業戦略や競争優位の源泉を腹落ちして理解できた等の意見をいただいた。</li> <li>▶ オンラインによる月次報告会を今年度も以下のとおり継続実施。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">おおぶねメンバーズカンファレンス実績</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">合計 11 回実施（4/27, 5/27, 6/29, 7/20, 8/25, 10/22, 11/29, 12/28, 1/25, 2/24, 3/29）</td> </tr> </table>	おおぶねメンバーズカンファレンス実績		合計 11 回実施（4/27, 5/27, 6/29, 7/20, 8/25, 10/22, 11/29, 12/28, 1/25, 2/24, 3/29）	
おおぶねメンバーズカンファレンス実績					
合計 11 回実施（4/27, 5/27, 6/29, 7/20, 8/25, 10/22, 11/29, 12/28, 1/25, 2/24, 3/29）					

<b>方針 4 「分かりやすい情報提供とお客さまにふさわしいサービスの提供」</b>	
--	--

<p>○インベストメントチェーンの一員として運用会社様および販売会社様と連携し、各種メディアも通じて広く長期厳選投資の意義を伝えるための活動を実施いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 長期厳選投資の意義を伝えるため、主として以下の活動を実施。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">活動実績</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">販売会社等</td> <td style="padding: 5px;">合計 4 回（SBI 証券（2 回）、楽天証券、MCP 年金セミナー）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">学生・学校向け講義</td> <td style="padding: 5px;">合計 10 回（教員向け（3 回）、ゼロ高（2 回）、国際高校、足利大付高、平塚農商高、東大、京大）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">メディア出演</td> <td style="padding: 5px;">合計 5 回（モーニングサテライト、FM ラジオ「企業の遺伝子」、日経</td> </tr> </table>	活動実績		販売会社等	合計 4 回（SBI 証券（2 回）、楽天証券、MCP 年金セミナー）	学生・学校向け講義	合計 10 回（教員向け（3 回）、ゼロ高（2 回）、国際高校、足利大付高、平塚農商高、東大、京大）	メディア出演	合計 5 回（モーニングサテライト、FM ラジオ「企業の遺伝子」、日経
活動実績									
販売会社等	合計 4 回（SBI 証券（2 回）、楽天証券、MCP 年金セミナー）								
学生・学校向け講義	合計 10 回（教員向け（3 回）、ゼロ高（2 回）、国際高校、足利大付高、平塚農商高、東大、京大）								
メディア出演	合計 5 回（モーニングサテライト、FM ラジオ「企業の遺伝子」、日経								

取組方針および具体的取組事項	2022 年度通期取組実績	
		CNBC、日経モーニングプラス、NHK ラジオ「マイあさ!」)
	雑誌等掲載	合計 15 回 (PIVOT (6 回)、日経ベリタス (2 回)、日経新聞、週刊新潮、ダイヤモンドオンライン、日経 BP など)
	その他	合計 41 回 (JA 等向け (27 回)、中小企業投資育成セミナー (2)、LPC インストラクター向け研修 など
<p>○当社が組成する金融商品の特性を踏まえ、ご購入いただく対象として想定するお客さまの属性を特定・公表いたします。</p>	<p>▶ 当社が組成する公募 2 ファンドについて想定するお客さまの属性を特定し、ホームページにより公表を継続。</p>	
<p><b>方針 5 「従業員に対する適切な動機づけの枠組み」</b></p>		
<p>○教育・研修等を通じ、すべての役職員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有するとともに、業績評価体系にお客さまのニーズ・利益に真に適う取組みに焦点を当てた評価項目を設けます。</p>	<p>▶ 四半期初の全体会議等において、当社の設立趣旨である「価値に基づく資本配分を通じた経世済民の実現」むけた 3 つのステークホルダーに対する価値実現の目標について、全職員で共有することを継続。</p> <p>▶ 上記ステークホルダーに対する価値実現を目指すべく、主体的かつ相乗的に価値認識・実現できる職員をコンピテンシーとして評価するプロパー職員人事評価制度の適用を開始。</p>	
<p>○お客さまの信認に応えることを最優先事項として掲げ、役職員個人としての投資助言残高等の追求は業務上の目標として設定はいたしません。</p>	<p>▶ お客さま本位の取組を最優先事項とし、投資残高等に基づく個人のインセンティブ目標は設定していないことを目標設定時に確認。</p>	